

視聴覚教育

現職教育委員会 祖國聴覚部



加藤 中彦(美川中)

第十六回、学校放送教育賞の「優秀賞」に本年度も岡崎市から十二点の応募があり、そのうち半数近く六点の講文が入賞した。

金額的にみて高い水準にあることが実証された。

◎ 日本放送教育会賞 加藤 中彦(美川中)

○ 奨励賞 白井 正社(愛宕小)・植葉 浩之(袖川小)

佳作 白井 正社(愛宕小)・植葉 浩之(袖川小)

教育文化賞を受賞

去る十一月二十四日、意義庄小学校において第十七回教育文化

賞授賞式が行われた。岡崎市現職教育委員会視聴覚部は、団体

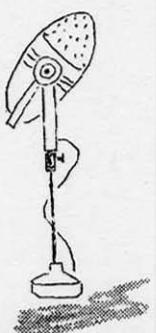
の部でみごと受賞の栄誉輝いた。

昭和二十一年、「岡崎市小学校視聴覚教育会」設立以後、

長年にわたって視聴覚教育の推進にあたって功績が、「」に認められ今回の受賞となった。「これまで無事あげていただいた」と先輩の方々の「苦労がよく実ったわけである。

」の授賞式機会に今後一層、視聴

覚教育を中心に、充実した活動を展開していくことを志している。



銘じて、これからも実践したい。



「喜びを分かち合いたい」 — 加藤 中彦 —
この番組を視聴させて五年になるので、この区切りのよい時期にと思って実践をまとめたものが、入賞できただけ嬉しい。つづけば、とまじつているのが、実感に近い心境です。これも一重に英語部、視聴覚部の諸先輩のよきリーダーがなくてこそです。いや、亡くなってしまったのは、私の受け持つ生徒の反応でした。参加することから始まり、経験するところから力が生まれる」の三段階を肝に

放送教育研究会全国大会

岡崎から十五人参加
去る十一月八日休一九日金の三日間、岐阜市を中心に第三十回、放送教育研究会全国大会が開かれた。

大会テーマ「豊かな人間性をはぐくみ、放送の特性を生かして学習の成立を図りし、教師の実践的な手立てを確立しよう」を掲げて、小学校二校、中学校四校で速報音楽が行われた。岡崎からは、助言者、提案者、パネラーを含めて、十五名が参加した。

・全国放送教育研究会に参加して・

後藤哲人(高田)

田を大きく開き 食いぐるよつて見る顔と頬
機関銃のよづけ書き



TP作成者45名

第一回岡崎市自作TP作品募集は去る十月十五日に締切られた。作品はハ十九点小学校六十五・中学校二十四)の多さに達した。そのうち、小学校三十三点、中学校十二点が入選と決定し、十月二十日、美川中学校にて設置された今年度第二千五百枚の懸念会に、その活用とTP作品の効果的効果を高めるために行われたのである。

TP作成者45名

第一回岡崎市自作TP作品募集は去る十月十五日に締切られた。作品はハ十九点小学校六十五・中学校二十四)の多さに達した。そのうち、小学校三十三点、中学校十二点が入選と決定し、十月二十日、美川中学校にて設置された今年度第二千五百枚の懸念会に、その活用とTP作品の効果的効果を高めるために行われたのである。

新任の先生の応募も多数あり、六名の先生が入賞されたりとは喜ばしいことであり、今後の活躍を期待したい。なお、多く入賞した学校もあり、やればできることを示したよい例と思われる。今後、前向きで参加されたい。

視聴ノートに一杯なうじださずか
「こんな様子のテレビを使つた社会科の授業を見た時、日頃なんの気なしに、生番組を見せて授業している私には別世界のようであった。

この機会に、一層研修を積んでいきたい。

視聴覚教育研修会 美川中学校で開催
授業研究を中心とする視聴覚教育研修会は、去る十一月二十日に開催された。この会は、来年度、視聴覚教育で研究発表を予定している美川中学校の中間発表をかねて行われたもので社会、理科、道徳、特活の公開授業、テレビタイマーの特設授業、分科会、全体と豊富な内容で盛会のうちに終えることができた。